

平成29年12月27日

富山県教育長 渋谷 克人 殿

富山県立南砺福光高等学校未来創造会議

富山県南砺市福光新町48-4

会 長 川 合 声 一

## 要 望 書

日頃から南砺市の教育環境の充実にご配慮頂き、深く感謝申し上げます。

さて、富山県教育委員会では平成26年度から県立高校再編問題について議論を重ねてこられました。今年9月には、「県立高校再編の基本方針」が決定され、今後検討等が進められる事になっています。

基本方針の中からも中学生の幅広い選択肢を確保するために、下記の要望を踏まえて慎重に県立高校の再編統合を進めていただきますようお願いいたします。

## 記

1. 前期の高校再編の総括及び再編結果を十分に検証していただき、後期の高校再編の参考としていただきたい。
2. 平成26年度から検討委員会や総合教育会議にて議論を重ね基本方針が決定されましたが、その中でも南砺市で開催の意見交換会の場での多くの市民の声を再編計画に充分反映していただきたい。
3. 再編対象校を「県立学校整備のあり方等に関する報告書」での小規模校のみを対象に再編を進めると、高校進学への選択肢が狭まり充実した教育環境が奪われる可能性がある。また高校が都市部へ集中する傾向があり、実際に遠距離通学となる生徒等へ様々な影響が発生します。高校へ進まれる生徒や保護者の意見を多く取り入れて進めていただきたい。
4. 南砺市では小規模校を対象に再編を進めると、多くの生徒が県外の高校へ進む可能性が出てきます。そうならないためにも小規模校再編に特化せず、且つ特色ある学科の創設等を考えていただきたい。
5. 文部科学省が作業部会を設置し、人口減少や産業構造の変化を見据え、地方創生を念頭に置いた高校改革に着手し推進しています。富山県の高校再編につきましても、地方創生の観点から進めていただきたい。